

# 校長室犬より 7 号

校長 瀧 俊彰

二学期

9月

## 二学期が始まりました。

今年の夏休みは連日35度を超えるような猛暑でした。その中で二学期が始まりました。まだまだ暑い日が続きそうですが気持ちを学校モードに切り替えて落ち着いた生活を送ってほしいものです。一学期の終業式で一番大切なものは命という話をしました。夏休みを終えて一番良かったことは休み中大きな事故もなく、生徒のみんなが元気に今日始業式を迎えることができたことです。休み中も部活動や文化祭の準備にがんばっていました。また、三年生は進路に向けて一生懸命勉強したことでしょう。

さて、8月の23、24日の夕方、岸和田の旧市で次のような光景を見ました。旧の26号線で、だんじり小屋の周りにたくさんの人が集まり、太鼓・鉦・笛の鳴り物の練習と祭りに向けての準備が行われていました。そしてすぐ近くのお地藏さんでは地藏盆のために、お年寄りの方が集まって提灯をつけ、お供えものをあげていました。これは毎年見る光景です。

一方では、日本国内で今年も多く多くの地区で台風、大雨の被害を受け、たくさんの方が亡くなったり、けがをしたり、家が流されたりという被害を受けました。今なお復旧できない場所も多くあり、不自由な生活を送っています。自分たちの生活する泉州地域では過去から大きな被害にあったことはほとんどありません。岸和田市の毎年見る光景を「当たり前に見ること」ができるということはある意味幸せなことであると思うと同時に「おかげさまで」という感謝の気持ちを持つことが大切であると思います。

今、葛城中学校は、生徒と先生方が協力し合って、あたり前の学校生活を当たり前に行っているというたいへんうれしい、よい状況にあると思います。そのうえで、さらにグレードアップした葛城中学校を目指していきましょう。今日から始まる二学期には大きな行事もあります。10月の文化祭、12月の合唱コンクール。2年生は11月に職場体験学習もあります。先生は常に「葛城中学校の主役は生徒である」と言っています。二学期も行事においても、授業においても生徒が主役であってください。

生徒の皆さんにはそれぞれの良いところがあります。それぞれの人がそれぞれの場面で活躍してくれることを期待します。そして、個人・学級・学年・学校全体で達成感を体感できるような二学期にしてほしいものです。

29年9月4日

岸和田市立葛城中学校